

JR東海労なごや

2008年 2月9日 No. 719
JR東海労名古屋地方本部
発行者：丹羽成生
編集者：中山喜弘

JR西日本以下!

「乗務停止」を直ちに中止せよ!

2005年発生したJR西日本福知山線事故は、日勤教育が事故の背後要因であることは広く社会に認められています。

JR東海においてもJR西日本の「日勤教育」と同様な「日勤再教育」が行われています。会社は、JR西日本の「日勤教育」のようなイジメはないとさかんに内外に言明しています。いわく、「再教育は事故等を発生させた乗務員に対して必要な知識・技能を一定レベル以上に習得させるために実施するものであり、乗務に必要な一定のレベルに達していない以上、乗務を停止したうえで必要な教育を行うことは、安全・安定輸送のために極めて重要なことと考える。」としています。

再教育=乗務停止の実態は イジメ・見せしめ・パワハラ 人権侵害の温床だ!!

会社の主張は職場の実態からかけ離れたものです。それは、職場で再教育中の乗務員の様子を見れば明白です。懲罰的・見せしめ的な長期にわたる乗務停止により乗務員は精神的にも追いつめられ、体調不良をも引き起こしているではありませんか。

運転士・車掌に過度の精神的プレッシャーをかけている現在の「再教育」はその実態からして再発防止の「教育」ではありません。当に、ミスを口実としたパワハラ・人権侵害の温床となっています。

会社に申し入れ! 職場の実態を明らかに し乗務停止廃止を求めます!!